

魔界ってほん魔界!

第11界

京の魔界を巡礼し、そのナゾに迫る「京都魔界巡礼団」。そのオカルト・古代史マニア集団が「京都チャンネル」に乗り込み魔界紀行番組を作ったと聞いて、色々怪々興味津々と参加志願をした本誌編集部員達。さて魔界の真の姿とは…



中山団長

南副団長

「京都魔界巡礼団」

■レギュラーメンバー

小嶋伸一（ディレクター）・佐々木昇（アシスタントディレクター）
丘真奈美（放送作家・超古代史ジャーナリスト）・加納進（京都の史跡を訪れる会会長）



太陽が昇る聖なる山・日御山

京のミニ伊勢・日向大神宮の神体山は東山三十六峯の1つ日御山であり、その名の如く平安京の太陽が昇る聖なる山だ。日御山の反対側の山科には「日ノ岡」という駅もあるほど「日=太陽」に因んだ地名が何やらやけに気になる土地。東山から登る太陽を背に鎮座するこの山は日本の太陽神・アマテラス御神を祀るには最良の場であったのだろう。

日向大神宮神体山「日御山(ひのやま)」

平安京のルルドの泉！朝日泉

日向大神宮「朝日泉」の社



日向大神宮には、靈験あらたかな不思議な伝承を持つ泉がある。境内に湧く「朝日泉」である。清和天皇の貞觀年間に疫病が流行し、この社で勅願が行われた。その時に神様の御告げがあった。「この盆地に湧きいづる清泉の水を汲んで万民に与えよ」と。その通りにしたところたちまち疫病がおさまったという。この水は朝日が出る山に湧く靈水「朝日泉」と命名され、京の名水の1つとなった話がここ日向神社には伝わる。

靈水・朝日泉の秘儀を伝える若水祭



元旦の早朝。また夜間に包まれた日向大神宮で朝日泉の靈験を再現する秘儀が行われる。それが「若水祭」。若水とは元旦の寅の刻（午前4時）に汲む水の事で、若返りの源と信じられている。午前3時、朝日泉の扉が御開帳され宮司が竹柄杓で若水を汲み神前に供える。又その水で神饌を調理し内外両宮に献供して、國家安泰・世界平和・家運繁榮・無病息災を願う祈願祭が行われる。この靈水は元旦、二日、三日と参拝者に無料で授与される。まさに一年の始まりを祝う清々しい神事である。

■魔界への入口は… ■ 日向大神宮

京都市山科区日ノ岡一切経町29

【魔界TVシリーズ再放送予定の問い合わせ先】

京都チャンネル（スカイバーフェクトTV ch.726）
<http://www.kyoto.channel.com/> 075-253-0609 (FAX)

学生は社会人に
社会人は学生になりたがる
関係者以外（一般客）でも
関係者待遇

「職員食堂」がある二階へ
上がる口は大人の階段か

学食・社食 三つ星レストラン

京都産業大学
職員食堂編



「職員さん、学生さんと、幅広い年齢の方がいらっしゃるので、個性的な味付けはせず、思いやりを忍ばせます」と山口店長



■京都市北区上賀茂本山
京都産業大学内
7号館2F
①075-712-6681
②10:00~16:00 (平日)
11:00~14:00 (土日) / 日休

「甘酢カレイ」160円、
「茄子田楽」120円、
「白御飯（中）」120円、
「味噌汁」30円、甘さ
ぎさ辛さぎさブレン
ドされた味噌がのる
「茄子田楽」は、年齢
の職員を思い柔らか
めに炊かれた「白御
飯」の事をすめる



京都の北の奥座敷、山深い緑に囲まれた京産大。そのキャンパスのさらに南西奥に「職員食堂」はある。「職員」の文字に、小学生の頃抱いた「大人の聖域=職員室」のイメージを重ねてしまうが、学生にも開放されるオープンな食堂である。とは言え素性は教壇の上の教授や助教授の舌を想定した「大人の食堂」だ。主なラインナップとなる魚料理や和惣菜は、少なくとも小学生が小躍りして喜ぶメニューではないだろう。ココを訪れることが出来る大学生たちの舌は、まさに子供から大人への過渡期にある。子供の頃、食べ残して母親に叱られた味を、今は美味しいと思い始めている彼らにとってこの食堂は、「大人になるための味の教室」なのかもしれない。

100年後にも残したい 京都おみやげファイル

車中に見た「切符炭発売中！」
の文言と写真に、市バスにまつ
わるみやげグッズ探求心がくす
ぐられた小学生は、交通局
で押収した市バスグッズ
は縮めて13点！ 発端と

I am a みやげマニア!!



市バスグッズの急先鋒
「切符炭」300円は、
市営地下鉄の使用済み
切符を1100度で45時
間焼き続けて製造する
脱臭剤。エコ・マイ



一番人気は吊り革と市バスがドッ
キングしたストラップ700円。方向幕ホ
ルダー250円をオプションで加えること
も可能だ

Rできれば」と世に送ったグ
ッズの数々、入手先は市バス。
地下鉄の案内所もしくは定期券
発売所のみとすれば、観光客は
おろか、全国交通マニアの垂涎
の的ってのも頷けるねえ。

買つたら乗ろう、乗るなら買おう！
都大路のトレードマーク

ビタースマイルみやげ編
京都府交通局オリジナルグッズ

太夫とは？ 第五幕「太夫の御歯黒(おはくろ)」編

「正五位」の別駕で、歌舞伎曲の他、茶・菴・香・歌などの公家や京都の奥方同様の知識を持った姫姫に与えられた姫女の最高官位のこと。現在は6花街のうち京都・嵐山のみに4人現存し、司太夫はその内の一つ。中学卒業後祇園甲部で舞妓となり、6年間務めその後太夫への道に進む。芸事の他、日本画・写真・手芸を勉強し、フリーペーパー「こったい新聞」の発行やイベント企画など活動の場は広い。

は笑う
歯を見せて
したのは
おす

鳩原司の
こっつい
花語

Tsukasa



「御歯黒」て、皆さんお見やしたことおですか？ そうぞす、時代劇とかで武家の奥方とか、お公家はんが歯を黒うつってはるアレです。何でやご存知ですか？ あれは口元から白い歯があが見るのは、はしたないとされて来ていたからです。平安時代には、公家の化粧法の一つとされ、男はんもそいやした。源氏物語絵巻とかお見やすとよお解りますえ。それが武家社会に広まり、武家に嫁いだ女子は御歯黒をしてはりました。江戸時代に入り町衆一般にも広がり、結婚した女子は皆御歯黒をしたと言います。実はうち太夫も、公家の流れからお座敷出るときは御歯黒をしてるのどえ。昔のように鉄漿（かね）（※注1）を溶かしてつけてんのやおへんえ。ロウの様なもので、すぐ着けられし取れもします。現代で着けてるのはうちただけどすし、いっぺんどんなもんか見に来とくれやすね。

注1：かねつけに使う褐色の液体。青・茶などに鉄片を浸し鉛なども入れ、付きをよくするため五倍子粉(ふしこ)を入れたりして、筆で歯に塗っていたとされる

司事務所

<http://kyoto.cool.ne.jp/tukasa21>